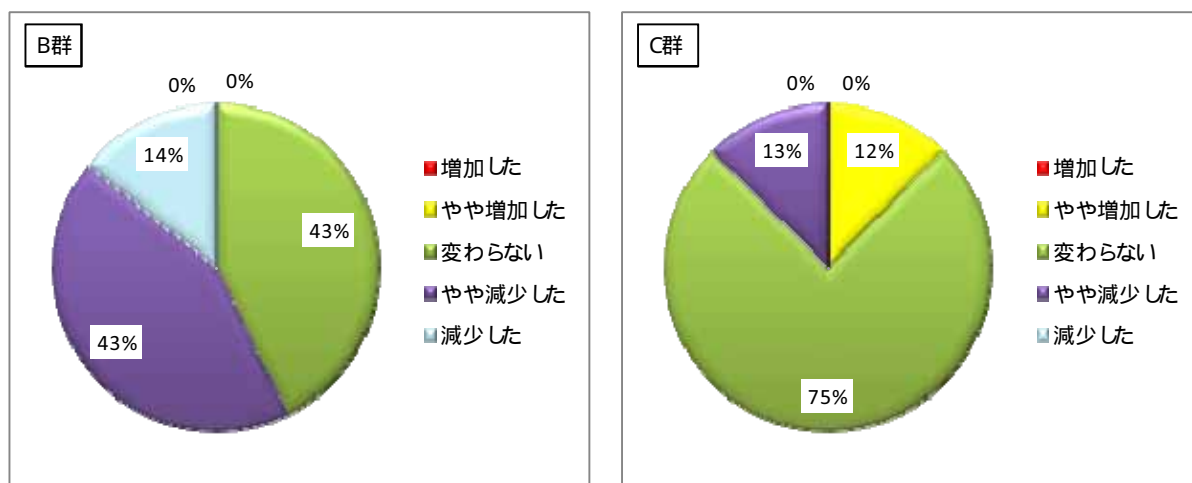


(10) アルコール・インターロック装置使用後のアンケート調査結果(全体)

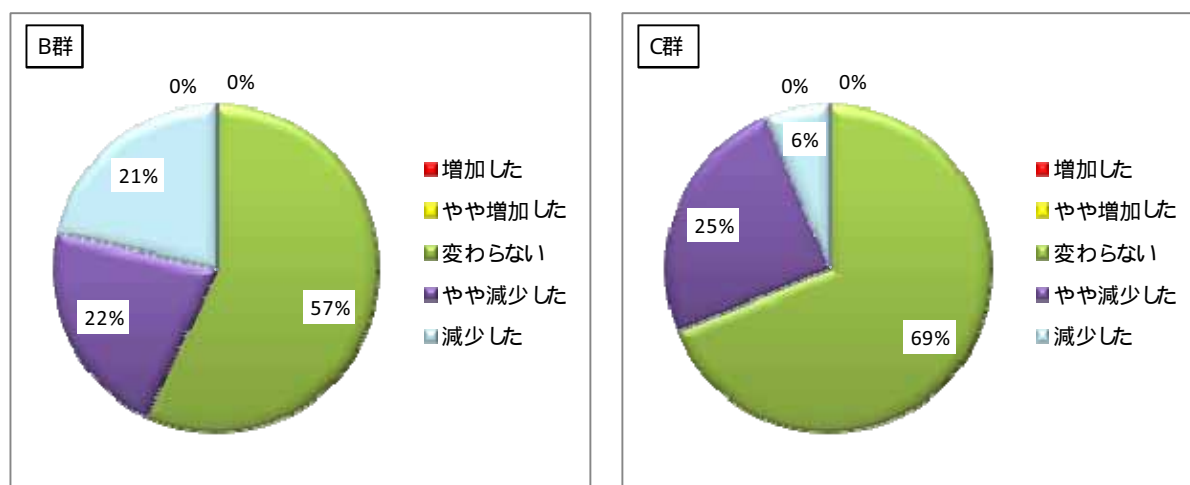
(Q1) 装置を使用する前に比べて、使用している期間、お酒の飲み方は変化しましたか

・飲酒量



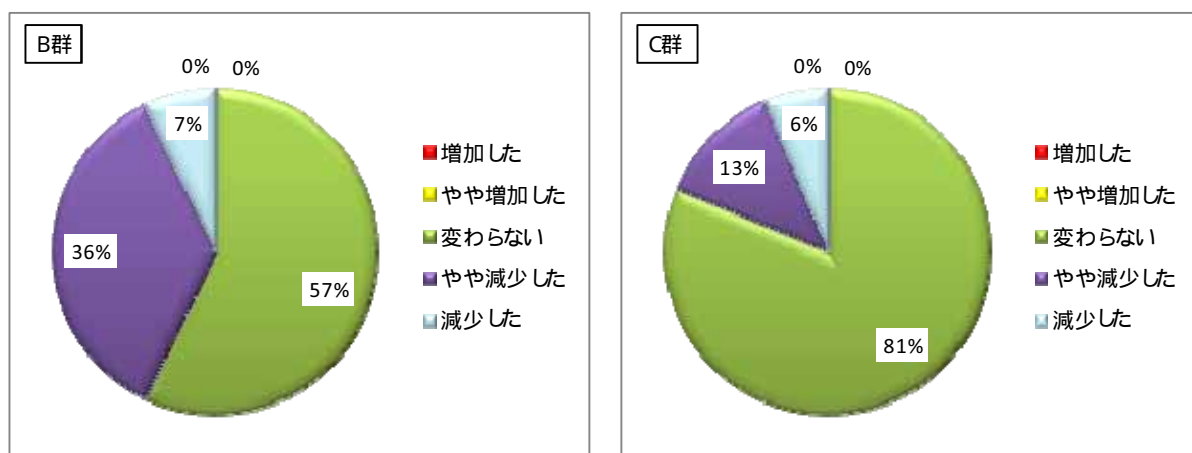
アルコール・インターロック装置使用中の飲酒量の変化

・多量飲酒日(アルコールを60グラム以上摂取した日)



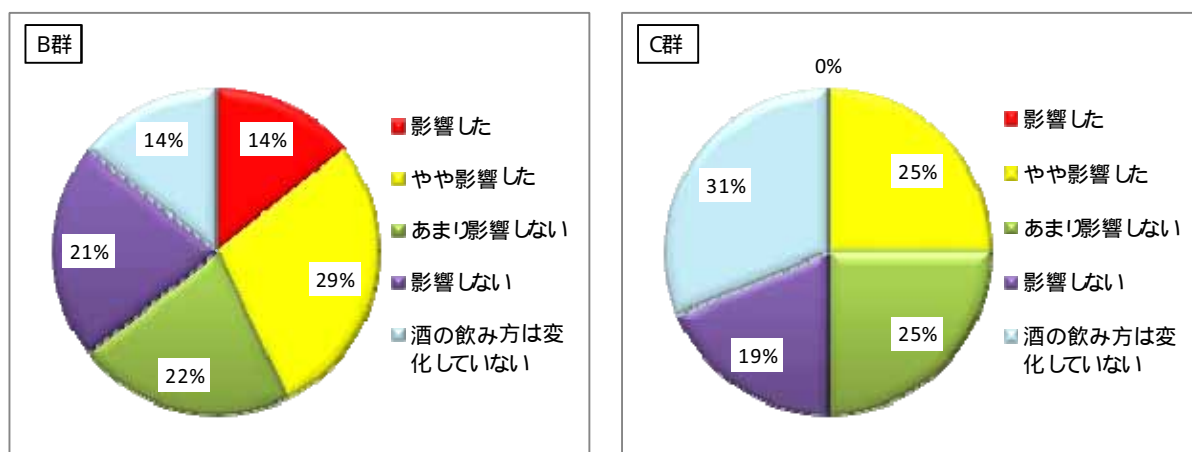
アルコール・インターロック装置使用中の多量飲酒日の変化

・飲酒日



アルコール・インターロック装置使用中の飲酒日の変化

(Q2) お酒の飲み方の変化に対して、装置を使用していることは影響しましたか



アルコール・インターロック装置装着によるお酒の飲み方への影響

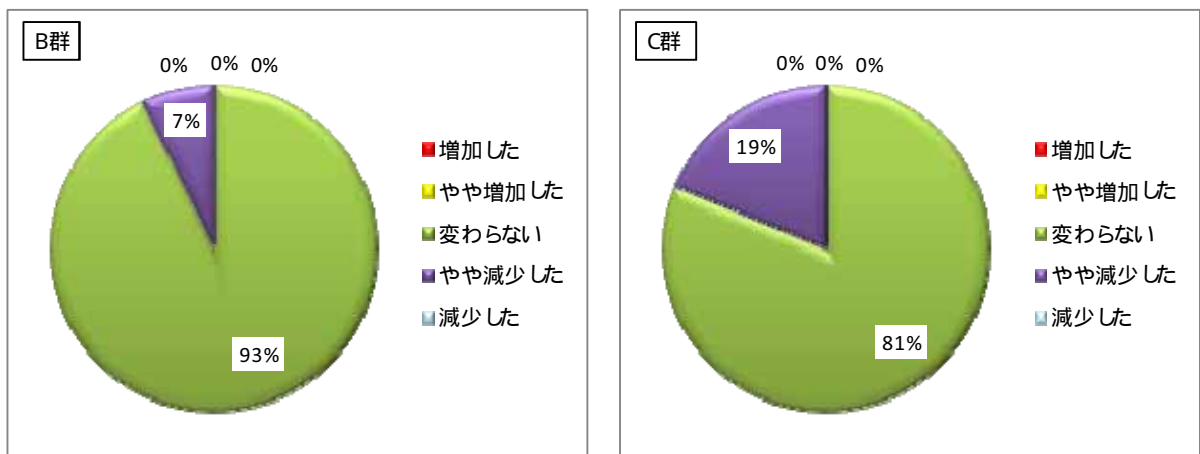
装置の影響についてのコメント

B群	運転する前日は飲まない様に気を付けた。
	運転する前日は飲酒量を減らす様になった。
	飲酒量が減った。
	お酒と言う物を意識して飲む様になった。
	飲んだら運転しないので関係ない。
	調査開始直後はやや影響した。日が経つにつれ、飲み会後でも基準以上になる事はなかったので、飲む量はあまり変化ない。
	次の日にお酒が残らないようにした。
	ドリンク数を意識して飲む事も多くあった。

C群	飲酒終了時間でエンジンがかからない事があると困るため。
	翌日の午前中に車を使う予定のある時はひかえた。
	前日の飲酒の計画は少なくした。
	もともと夜遅くでかける事があまりないので変化はしていない。
	おさえて飲む必要がない分、量は増えたと思う

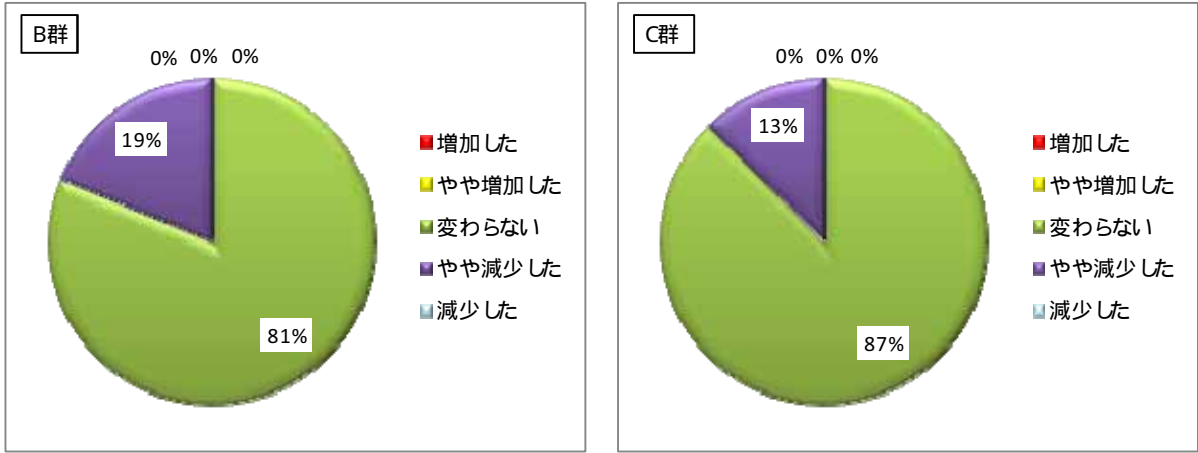
(Q3) 研究に参加する前に比べて、この研究に参加している間、自動車の運転状況は変化しましたか  
自動車の運転頻度、走行距離とも、ほとんどの者が変わらないと回答している。

・頻度



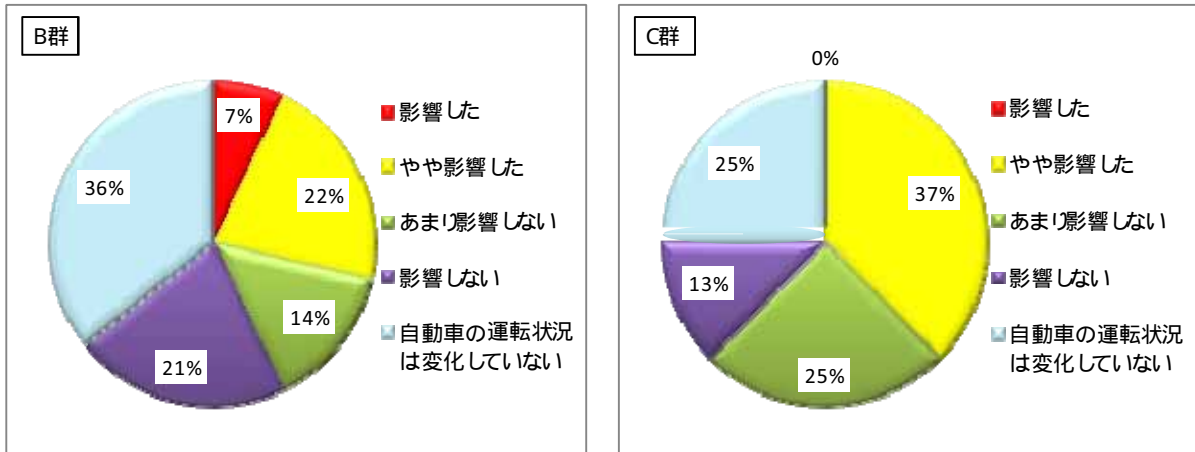
アルコール・インターロック装置装着中の運転頻度の変化

・距離



アルコール・インターロック装置装着中の走行距離の変化

(Q4) 自動車の運転状況の変化に対して、装置を使用していることは影響しましたか

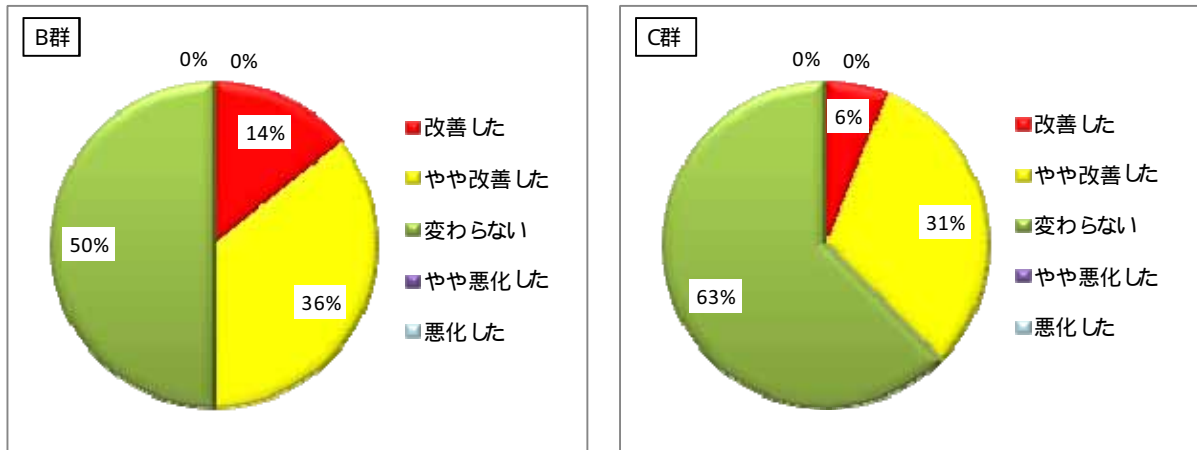


アルコール・インターロック装置装着の運転状況への影響

装置の影響についてのコメント

B群	少し早めに家を出る。
	かなり面倒。
	エンジンをかけるのが面倒で、運転をしない事にした日もあった。
C群	エンジン始動までの時間が非常に長い。
	少し早めに家を出る。
	30分はすくたってしまうので、お店に周りたくても止めた。
	息の吐き方がうまく出来ず面倒くさかった。
	飲酒の状態がわかるので、走行距離が減った。
	少し早めに家を出る。
	昨夜のお酒が残っていて、運転できないことがあった。
精神的な面で飲酒に気を使うようになった。	

(Q5) 装置を使用する前に比べて、使用している間、飲酒習慣は改善しましたか

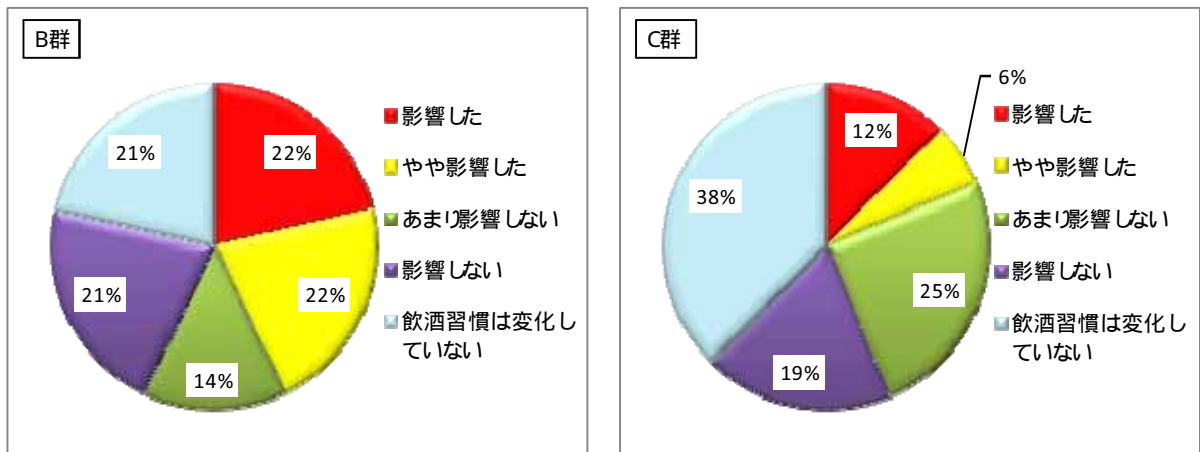


アルコール・インターロック装置使用中の飲酒習慣の変化

改善についてのコメント

B群	週1日の休肝日が週3~4日になった。
	飲酒量を減らした。
	家での飲酒は決まった量以上飲まなくなった。
	ゴルフに行く時は飲む量が減った。
	飲む回数が減った。
	残アルコール度を意識して飲むようになった。
C群	車に乗る前日は深酒をしないよう掛けた。
	飲酒日や時間が減った。
	翌日の予定を考えて飲むようになった。
	休日前の深夜までの飲酒回数は減った。
	家に帰宅してから飲むので変わらない。
	なんとなくあと1本or1杯をやめた。
	装置を意識して飲むようになった。

(Q 6) 飲酒習慣の改善又は悪化に対して、装置の使用は影響しましたか

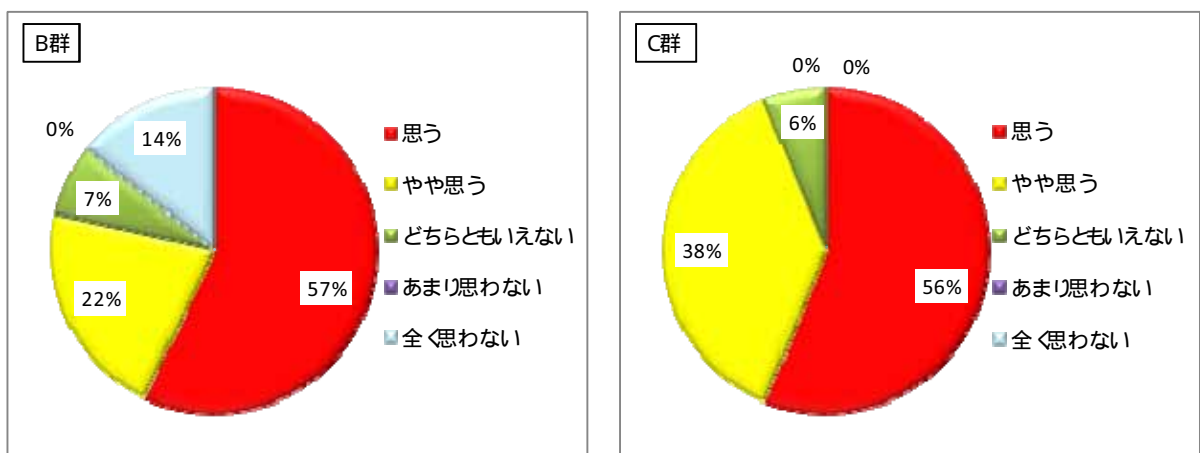


飲酒習慣の変化へのアルコール・インターロック装置の影響

装置の影響についてのコメント

B群	装置の影響よりも、カウンセリングの影響の方が大きい。
	運転する前日は飲まない様に気を付けた。
	深酒をしなくなった。
	翌日の運転に困る。(インターロックがかかると)
	飲酒量が減った。
	飲酒量を気にするようになった。
C群	エンジンがかからないと困るので。
	午前中の運転の場合、前日の飲酒はひかえた。
	飲酒に対する意識が強くなった。

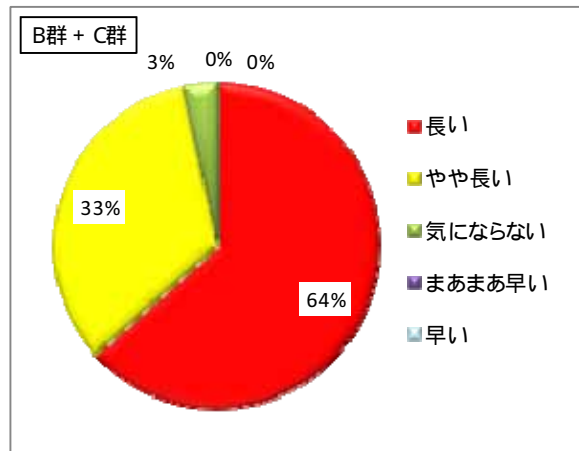
(Q 7) この装置は飲酒運転防止に効果があると思いますか



アルコール・インターロック装置の飲酒運転防止効果

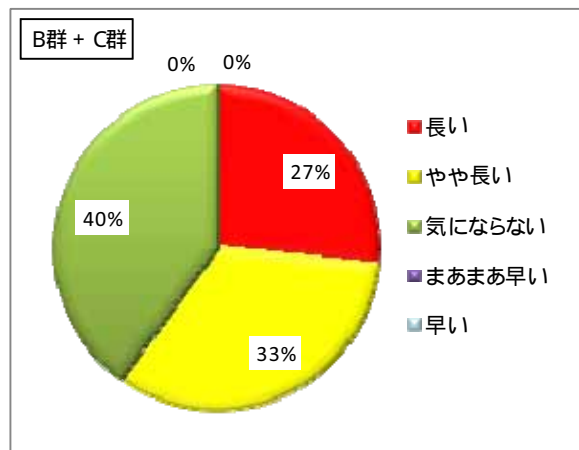
(Q 8) 測定時間、ウォーミングアップ時間について

・ウォーミングアップ時間は



アルコール・インターロック装置のウォーミングアップ時間の評価

・吹き込んだ後測定終了までの時間は

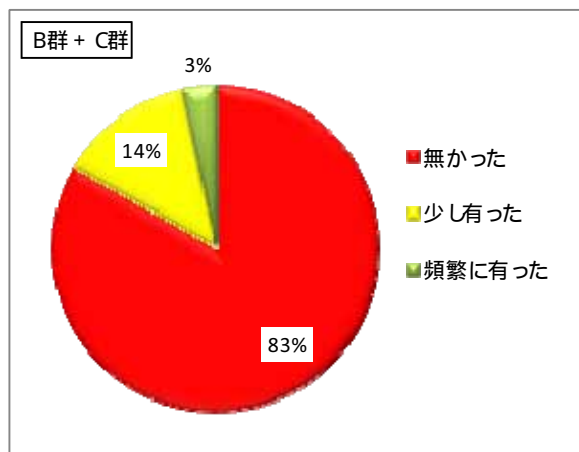


測定終了までの時間の評価

装置に対するコメント

- ・起動時間が長い
- ・呼気量が多く、女性や高齢者にはつらい
- ・他人の成りすましができる

(Q9) 精度、誤検知について



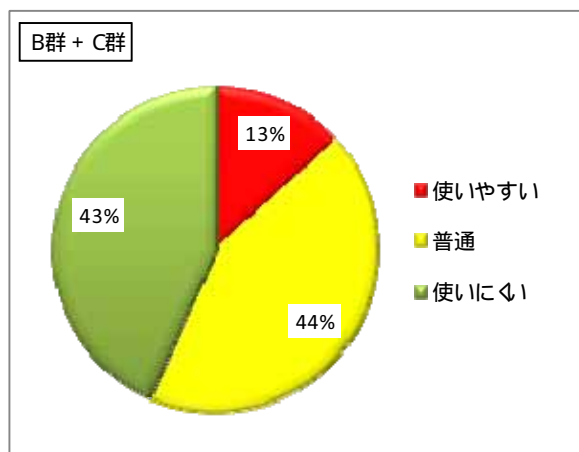
誤検知の有無

誤検知の状況

- ・パン食、マウスウォッシュ、味噌ラーメンを食べた後。
- ・早朝。
- ・飲んでいないのに何回も誤検知される時もあった。

(Q10) 装置の使いやすさ、息の吹き込みやすさについて

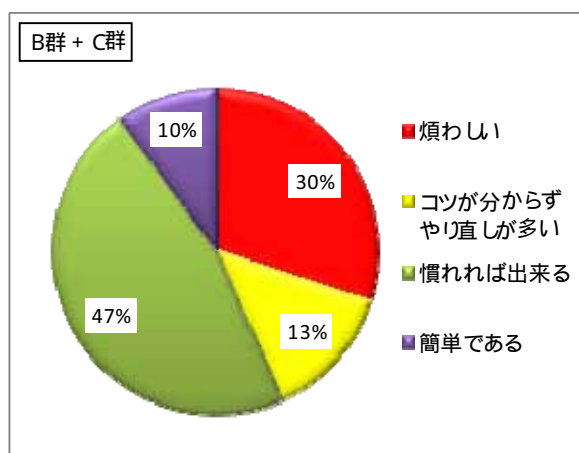
- ・装置は使いやすかったか



装置の使いやすさ



・息の吹き込みは

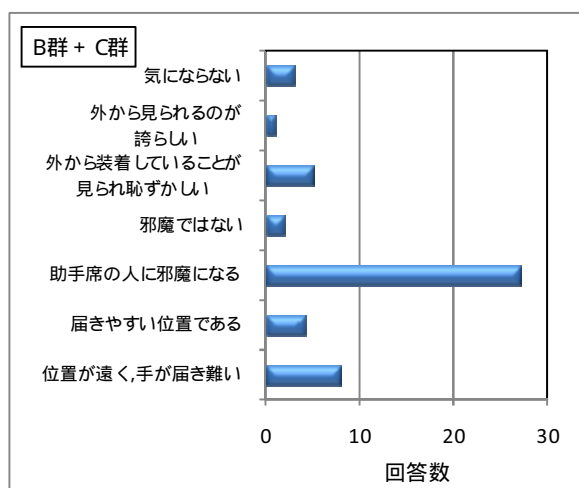


息の吹き込み

装置の利便性に関するコメント

- ・呼気量が多い
- ・吹き込み時間が長い
- ・呼気量の許容範囲が狭い
- ・操作が面倒
- ・ハンドセットの小型化
- ・簡便な装置の開発

(Q11) 装置位置について(使いやすさ、外から見える)(複数回答可)

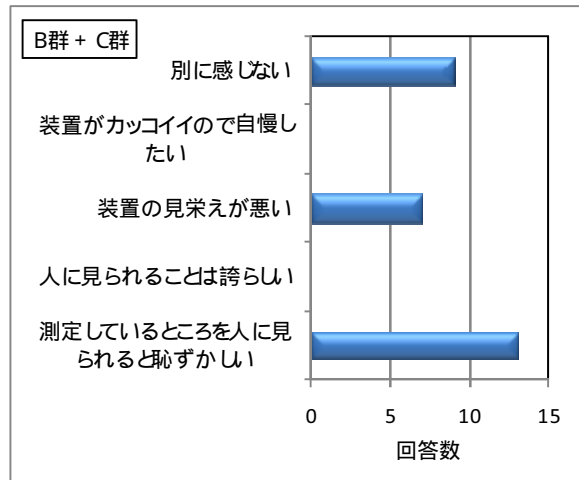


装置の搭載位置

装置の装着に関するコメント

- ・ハンドセットが大きい
- ・遠くて操作しにくい

(Q 1 2) 測定時に人に見られることの違和感について (複数回答可)



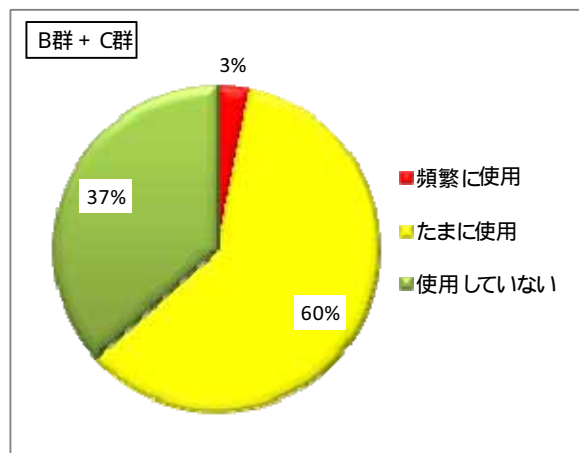
人に見られることの違和感

コメント

- ・ 起動時間が長いので、客先で見送られる際に困った。
- ・ 駐車場で出ると思って待たれると困る。

(Q 1 3) バイパス・スイッチの使用有無及び必要性について

- ・ バイパス・スイッチの使用

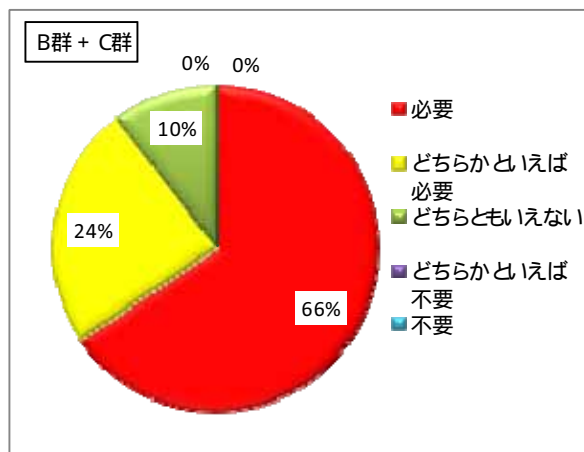


バイパススイッチの使用の有無

使用したケース

- ・ 定期点検、整備
- ・ 機器不良でエンジンを始動できなかった時
- ・ 吹き込みエラーが頻発した時
- ・ 病院へ行くため急いでいた時

・バイパス・スイッチは必要と思いますか



バイパススイッチの必要性

必要理由

- ・ 機器不具合時、点検時
- ・ 緊急時

(Q14) 装置の良い点、悪い点を教えてください。

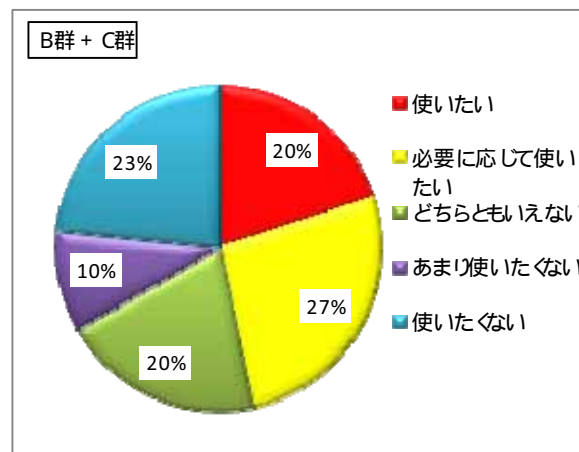
良い点

- ・ 飲酒運転防止。
- ・ アルコールが残っていないという安心感がある。
- ・ お酒を飲む事。飲酒運転に対する意識付けが出来る。
- ・ 日帰りゴルフなどでは、飲酒量を考えるようになった。
- ・ 正確な検知をしたこと。
- ・ 装置がある事で前日の飲酒量を意識した。
- ・ 操作が簡単。
- ・ 飲酒運転に対する意識が高くなる。

悪い点

- ・ 煩わしい。
- ・ 誤動作や機械のトラブル。
- ・ 息の吹き込みの強弱が難しい。
- ・ 息を吐く時間が長く必要で、体調が悪い時など息が続かない時がある。
- ・ ウォーミングアップの時間が長い。
- ・ フリースタートが30分では短い。
- ・ 設置場所が邪魔。
- ・ 誰でも息を吹き込めるので、完全に飲酒運転を阻止できる装置ではない。
- ・ 装置が大きい。
- ・ バッテリーが上がる。
- ・ コードが固くて短い。

(Q15) 装置の今後の使用（例えば、使用を継続する、又は、研究終了後再装着をする等）について



今後の使用について

#### 選択肢を選んだ理由

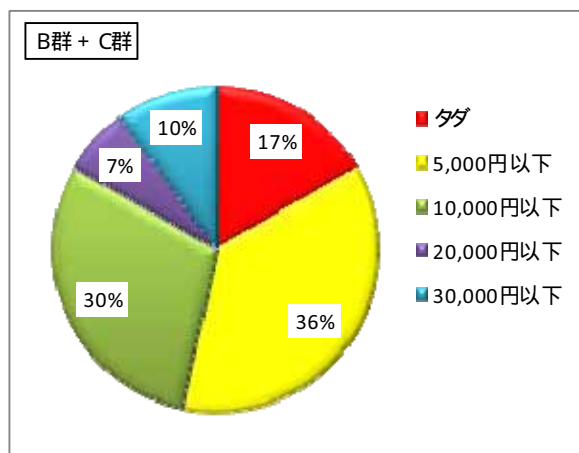
##### (継続使用する者)

- ・ 社有車には是非実装したい。
- ・ 全車に使われる様になれば良いと思う。
- ・ 飲酒運転が減ると思う。
- ・ 設置スペースの問題も解消され、測定終了までの時間に煩わしさを感じなければ使っても良い。
- ・ 自分自身には必要性を感じないが、普及してきたら使っても良いと思うから。
- ・ 起動時間などの操作性が改善されたら使用したい。
- ・ 知らぬ間に飲酒運転しないため。
- ・ 運転日前日の飲酒量セーブになる。
- ・ 翌日運転が出来る事を考えて飲むようになったので、取り外した後が不安。
- ・ 飲酒運転は絶対にしないが、装置で飲酒してないことが確かめられる。

##### (中止する者)

- ・ 飲酒運転はしない。
- ・ 使いにくい。
- ・ 他の人の吹いてもらったら意味ない。
- ・ ほとんど飲酒はしないが、そのために毎日の運転が煩わしくなる。
- ・ 飲んだ翌日にアルコールが残っているような飲み方はしない。

(Q 1 6) 装置の購入及び取付に要する費用を全てご自身で負担した上で、取付ける必要がでた、又は、取付けることが適切である状況となったとしたら、その負担総額はいくらぐらいが適当と思いますか

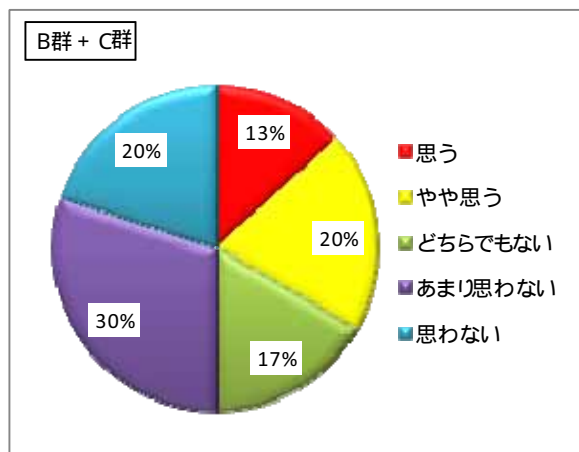


費用負担額

負担額が適当と思う理由

- ・ ETC 装置と同程度。
- ・ お酒を飲まなければ付ける必要がない。
- ・ 自己負担をしてまで取り付ける装置ではない。
- ・ 取付を義務化すべき。

(Q17) 装置について、友人・知人にも装置を勧めたいと思いますか



友人・知人にも装置を勧めたいか

選択肢を選んだ理由

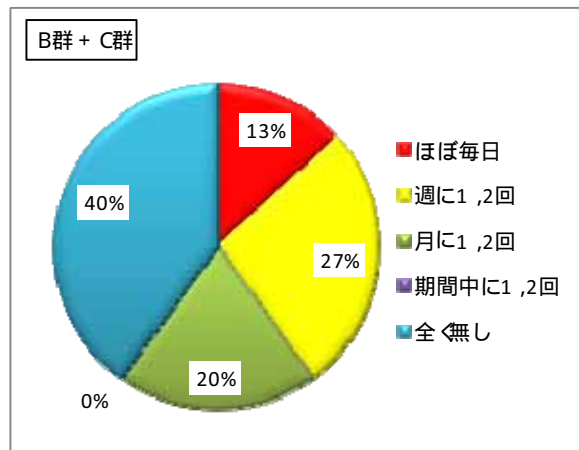
(勧めたい者)

- ・友人が飲酒事故をしているから。
- ・いつも酒臭い人がいるので、その人の車には勧めたい。
- ・飲んだら運転しようと思わなくなると思うので。
- ・効果があると思う。
- ・飲酒運転の防止。
- ・装置を付けることにより、運転前に酒を飲む可能性を否定できる。
- ・知らぬ間に飲酒運転しないため。

(勧めたくない者)

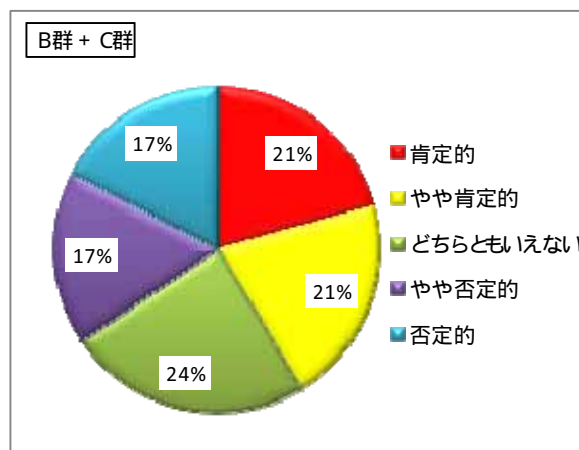
- ・面倒くさい。
- ・法的に決定しないと取り付けるメリットが無いから。
- ・付けても意味ない、もっと罰則を強化すればよい。
- ・バイパス・スイッチを使用すれば誰でもエンジンをかけられるので。
- ・車を共有する機会が多いから。

(Q18) アルコール・インターロック装置を取付けた車両の、ご家族の運転頻度はいかがでしたか



装置取り付け車両の家族の運転頻度

(Q19) 装置を車に取付・使用していたことについて、ご家族の反応はいかがでしたか



装置取り付け車の家族の反応

家族のコメント

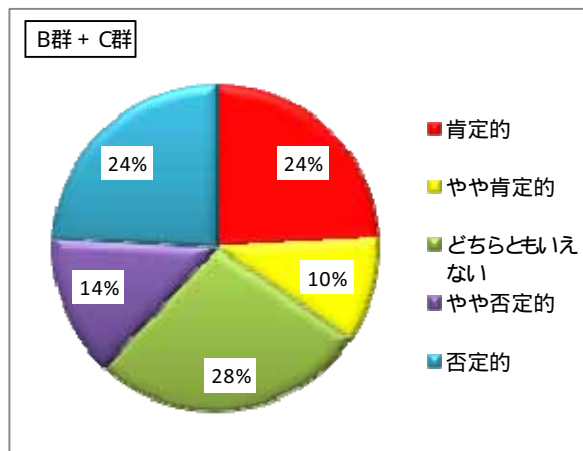
(肯定的)

- ・家族としては安心する。
- ・飲酒運転の抑止に貢献している。
- ・ずっと付けていても良い。

(否定的)

- ・息の吹き込む時間が長い。
- ・マウスピースの交換が煩わしい。
- ・起動時間が遅い。
- ・助手席は邪魔。
- ・飲酒しない。

(Q20) 装置の今後の使用（例えば、使用を継続する、又は、研究終了後再装着をする等）を想像した場合の、ご家族の反応はいかがでしたか



今後の使用に対する家族の反応

#### 家族のコメント

(肯定的)

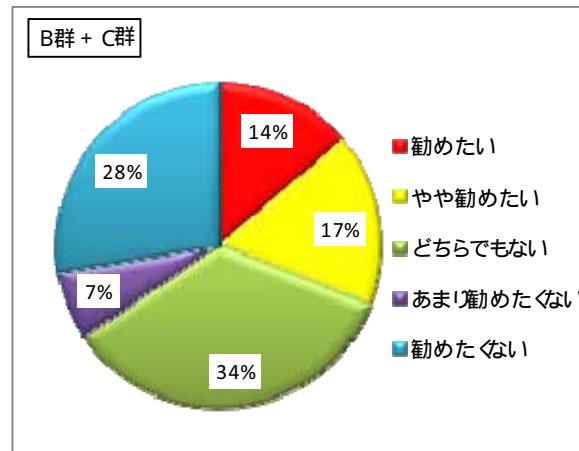
- ・改善されればよい。
- ・飲酒運転の予防になって良い。

(否定的)

- ・買物に行った時、数ヵ所回って 30 分以上で装置の再起動は大変。
- ・面倒。



(Q 2 1) ご家族において、装置をご家族の友人・知人にも装着を勧めたいといった反応がありましたか



装置を家族の友人・知人に勧めたいか

#### 家族のコメント

(勧めたい者)

- ・飲酒運転の防止。
- ・車を運転する機会が多い友人、知人がたくさんいるから。
- ・義務化されれば飲酒運転による事故は減るかもしれない。

(勧めたくない者)

- ・反応が遅すぎて使いたくない。
- ・アルコール反応が出たとしても、運転する人はしてしまうのではないか?(緊急スイッチを使ったり、他人に吹き込みをさせればできる)あくまでも個人というより法人車に取り付けるものではないか。

(Q 2 2) その他アルコール・インターロック装置について、あなたのお考えをお聞かせください

- ・吹き込みも非接触タイプ、簡便な装置。
- ・運転手の認証が完全に出来る装置。
- ・飲酒運転違反者は全員この装置を法律で強制的に付けさせる。
- ・飲酒運転を減らすには必要だと思う。法的に取付ける事が決まる必要がある。
- ・車の安全装置(シートベルト、エアバック等)と同様に装着を義務化されるべき。
- ・飲酒運転を自己認識で止めることが出来ない人がいることから、必要性を感じる。
- ・飲酒運転が常習化している人や、万が一を防ぐ為にも取付けを義務化しても良い。
- ・自分自身の飲酒量を自分で管理する様になる。
- ・車の運転を職業とする人への義務付けはあっても良い。
- ・毎晩飲酒をして数時間の睡眠後また運転する事もあったが、今回の装置のおかげで飲酒運転をしていないかもしれないという事を知った。
- ・飲まない家族もいるし、全車に装着は無理があると思う。
- ・装置のメンテナンスが必要そうで面倒。